



農ある仲間，土ほぐす福幸プロジェクト

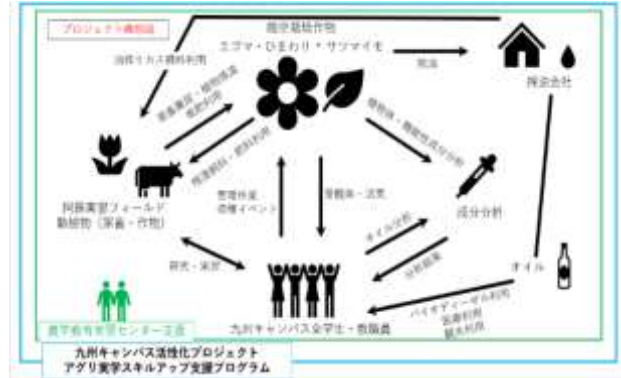
～みんなで創る学びのフィールド～



東海大学農学部は、2016年の熊本地震で被災し、現在は熊本市内の熊本校舎で講義を、阿蘇実習フィールド(旧阿蘇校舎)で実習を行っています。2023年4月には実習圃場も一体になった臨空校舎が開設されます。

本プロジェクトは旧阿蘇校舎での農学部開設当初、学生と教職員が一体となって圃場や学びの場を作り上げてきたことが学生の修学姿勢にも強く影響し自校への愛着や誇りを抱くことにつながった歴史にならない、九州キャンパス全学部の学生・教職員がヒト・自然・動植物の関わりの中で新しい校舎の創造に加わることを目的としています(図1)。

2020年に油糧用ひまわり・えごま栽培を開始(写真1)。収穫した種で搾油しオリジナル食用オイルを開発し、高評価を得ることができました(写真2)。今年度もコロナ渦ではありましたが継続して作付けを行い、7月の種まきでは、オリンピックイヤーということで種まき×exercise『播くサササイズ』を実施し農業×スポーツのコラボも実現しました。11月中旬には収穫イベントを実施し(写真3)、これから乾燥・選別し搾油へと移ります。さらに、ひまわりの葉茎サイレージ製作や油の搾り粕の給餌試験、それらによる付加価値を付けた肉生産、油の機能性の分析など新たな利用価値を模索中です。新しい校舎へもいよいよ来年度11月には引越しになります。



【図1.プロジェクト構想図】



【写真1.油糧用ひまわり満開時】



【写真2.デザインも手掛け製品化】



【写真3.今年度ひまわり収穫時の様子】